

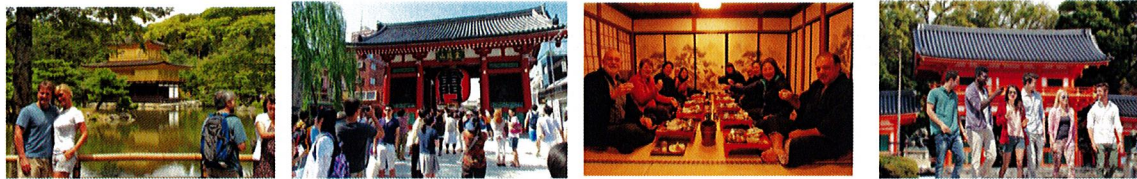
外貨入金機導入のご提案

Money Exchange

外貨両替専門店事業

はじめに

訪日観光客数が急増する中で外貨両替のニーズは高まっていますが、従来の銀行両替やホテルでは観光客のニーズを満たしているとは言い難い状況です。



しかしながら従来の金券ショップなどは外貨を両替料の高い銀行に持ち込むことで両替利益率が低くなり、黒字化しないため集中投資へのハードルになっていました。
本両替事業は、従来の 10 分の 1 程度の両替額でも黒字運営が可能となる画期的なビジネスモデルです。



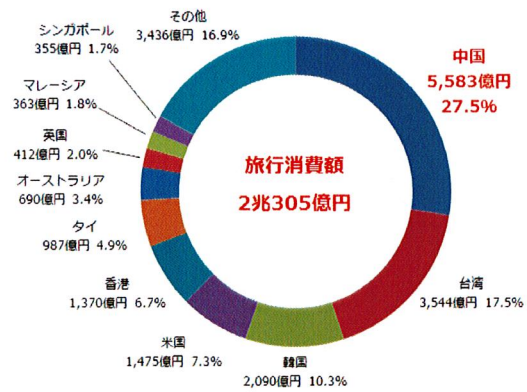
Inbound インバウンド

訪日外国人の動向

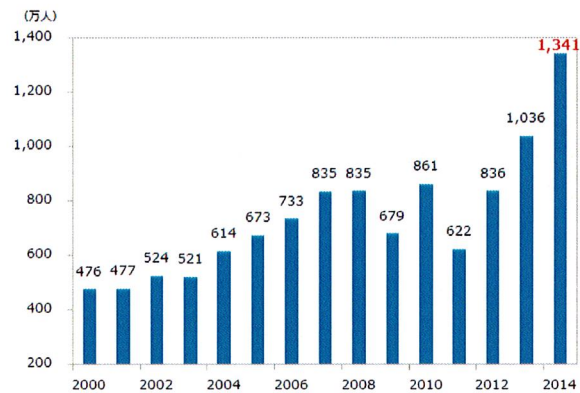
日本政府は将来的に年間2000万人の訪日外国人旅行者数獲得を目標に設定し、その実現のために「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2014」を打ち立てた。

外国人増加の勢いは今年に入ってから落ち着くどころか「加速」しており、1～6月までの累計値（推定値）で914万人、対前年同期比で288万人の増加、率にして46.0%というすさまじい伸びを示している。

日本国内の小売業をはじめとするインバウンド（内需宛）事業者は激増する外国人に対するインバウンド需要、すなわち集客対策が急務のものとなっている。



国別訪日外国人旅行消費額



訪日外国人旅行者の数



Inbound インバウンド

インバウンド施策の現状

訪日外国人不満度ランキング上位は決済項目

コミュニケーションや、Wifiなどの問題と同じ上位に両替やクレジット等の決済問題がある。

世界でも流動性の通貨を自国通貨としている先進国で、決済問題が上位にあるのは日本だけである。

それだけ日本の訪日外国人に対するインフラが整備されていないことが分かる。
コミュニケーションに関しては日本における外国人が使う全てのサービスにおいて不満の対象となっている。

訪日外国人不満度ランキング

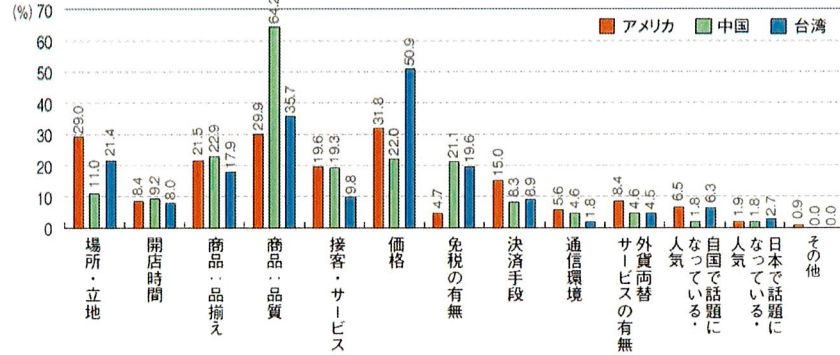
1位	無料公衆無線LAN環境
2位	コミュニケーション
3位	目的地までの公共交通の経路情報の入手
4位	両替・クレジットカード利用
5位	公共交通の利用方法（乗り方）、利用料金
6位	飲食店情報の入手
7位	地図、パンフレット（多言語）が少ない
8位	公共交通の乗り場情報の入手
9位	割引チケット・フリー切符の情報の入手
10位	飲食店の予約



Inbound インバウンド

訪日外国人は決済やATMに不満を持っている

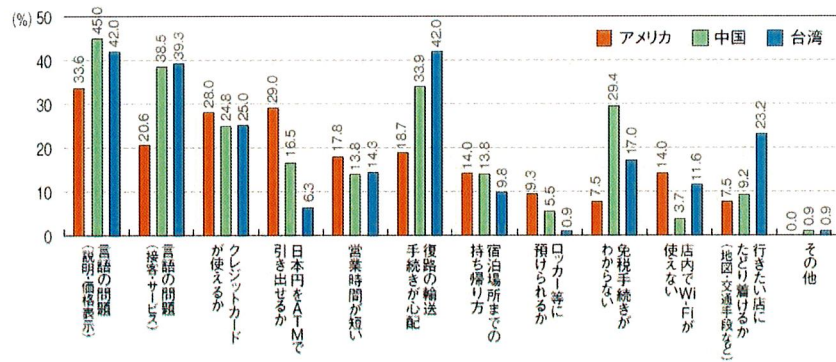
Q1 あなたが日本でショッピングする際、最も重視することは何ですか (複数回答)



ショッピング時の不満

- お店までの道が分からない
- 輸送とその手続き
- 言語の問題
- クレジットカードが使えない。
- 日本円をATMで引きだせない。

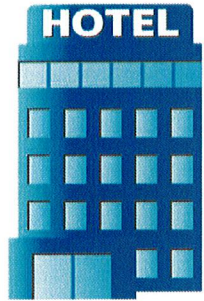
Q2 あなたが日本でショッピングした際、不満・心配だったことはなんですか (複数回答)



調査設計：ブルームーン・マーケティング、
 調査協力：USPジャパン（ジャパンショッピングツーリズム協会監修）
 データ提供：Cint Japan



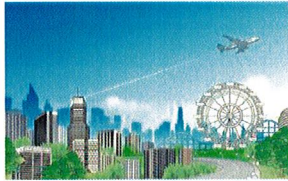
インバウンドの玄関口と導線



大手のみ



都市空港のみ



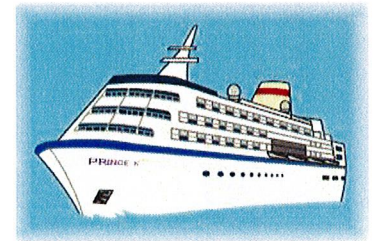
銀行・金券ショップ



主要観光地ではチラホラ



ターミナル駅のみ



主要港湾のみ

入金機導入のメリット

インバウンド集客(既存事業の付加価値)

・待つ仕事からアピールする仕事への転換

高額家賃の負担軽減

・副業での少額収入でも家賃の足しに

副業収益

・本業の人員を削減せずにプラスの仕事で収益化

外貨決済をも可能にする

・飲食店や買い物客なら外貨で支払い、円でおつりも可能

Banknote Deposit Machine AE700



機材規格

Features

- 外貨入金機AE700型は、従来の自動外貨両替機を入金機能に特化させたコンパクト型入金専用端末です。
- 徹底した小型化により、狭小な設置環境でも容易に設置が可能。
- 英語・中国語・韓国語に対応し、訪日旅行者も安心のタッチディスプレイ。
- 遠隔操作によるレート配信
- 最大30枚の紙幣を一度に投入可能（各国紙幣の混載対応）。
- 入金カセットの満杯予告により運用停止の事前回避が可能。
- カセット式による集金業務の効率化。

Specifications

適合通貨	最大12通貨
紙幣入金部	高精度鑑定装置内蔵 最大30枚を一度に投入可能
入金カセット	最大1200枚（カセット式）
インターフェイス	LCDタッチディスプレイ
プリンタ	計算書発行
通信	無線接続
サイズ	幅250×奥500×高600mm
重量	Kg
付属品	感熱ジャーナルロール紙
オプション	フロアスタンド（高200mm）

※外観・仕様は予告なく変更される場合があります。

レシートイメージ

ExDrawer_負取引履歴_0001_001

2016年04月14日(木)13時34分29秒

SAKURA EX Okachimachi Ameyoko

番号：000017

状態：正常完了

入金：

AUD：(¥73,12)

100：0

50：2

20：0

10：0

5：0

入金額：100 AUD

出金：

：7,312 円

両替額：7,312 円

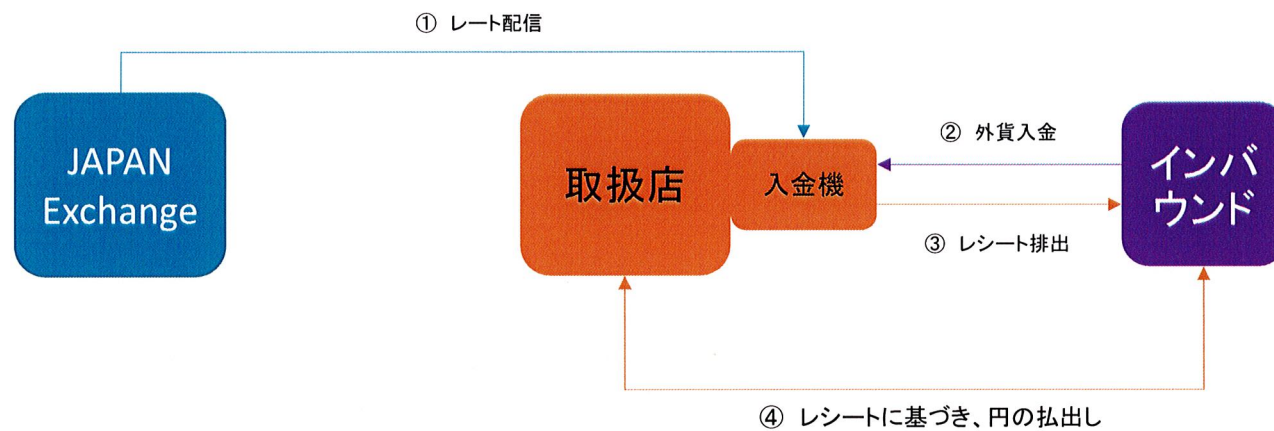
出金額：7,312 円

差額：0 円

端数：切り捨て

運用イメージ

外貨獲得サイクル

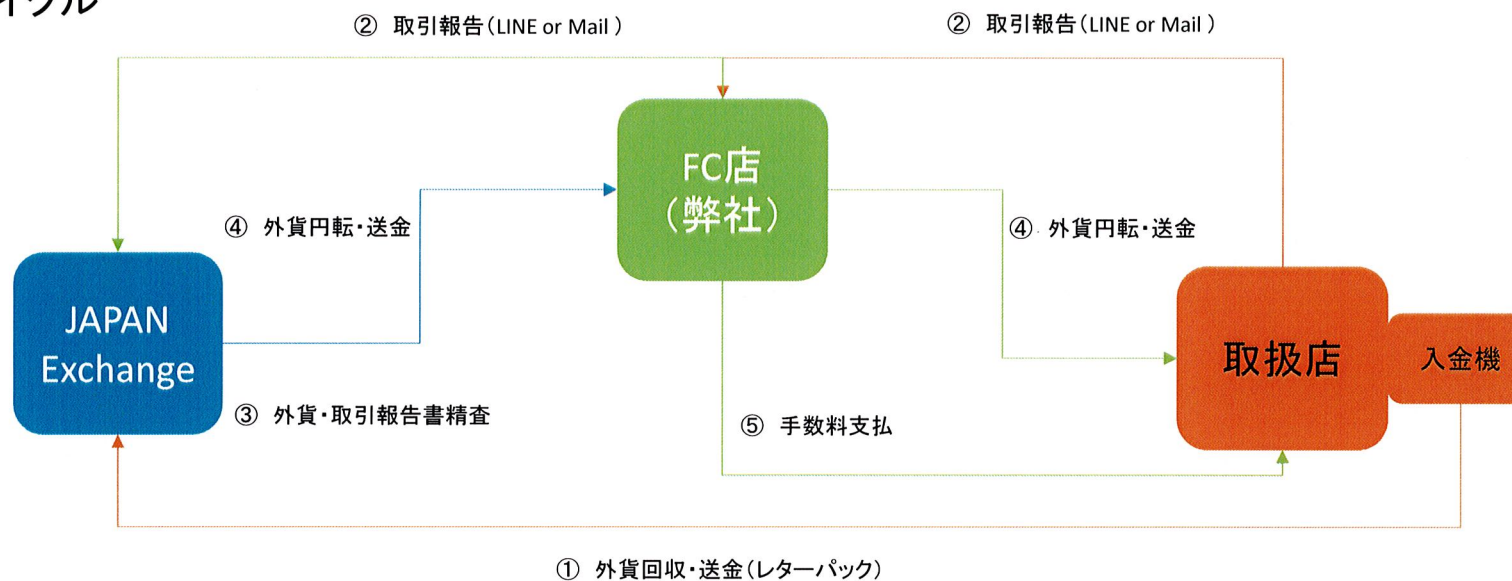


取扱店 : 入金機の設置、電源の確保、レジ金の払出

JAPANEx : レートの配信

運用イメージ

外貨円転サイクル



取扱店 : 外貨両替業務
代理店 : 日銀報告、本部窓口(業務報告)
JAPANEx : 円転

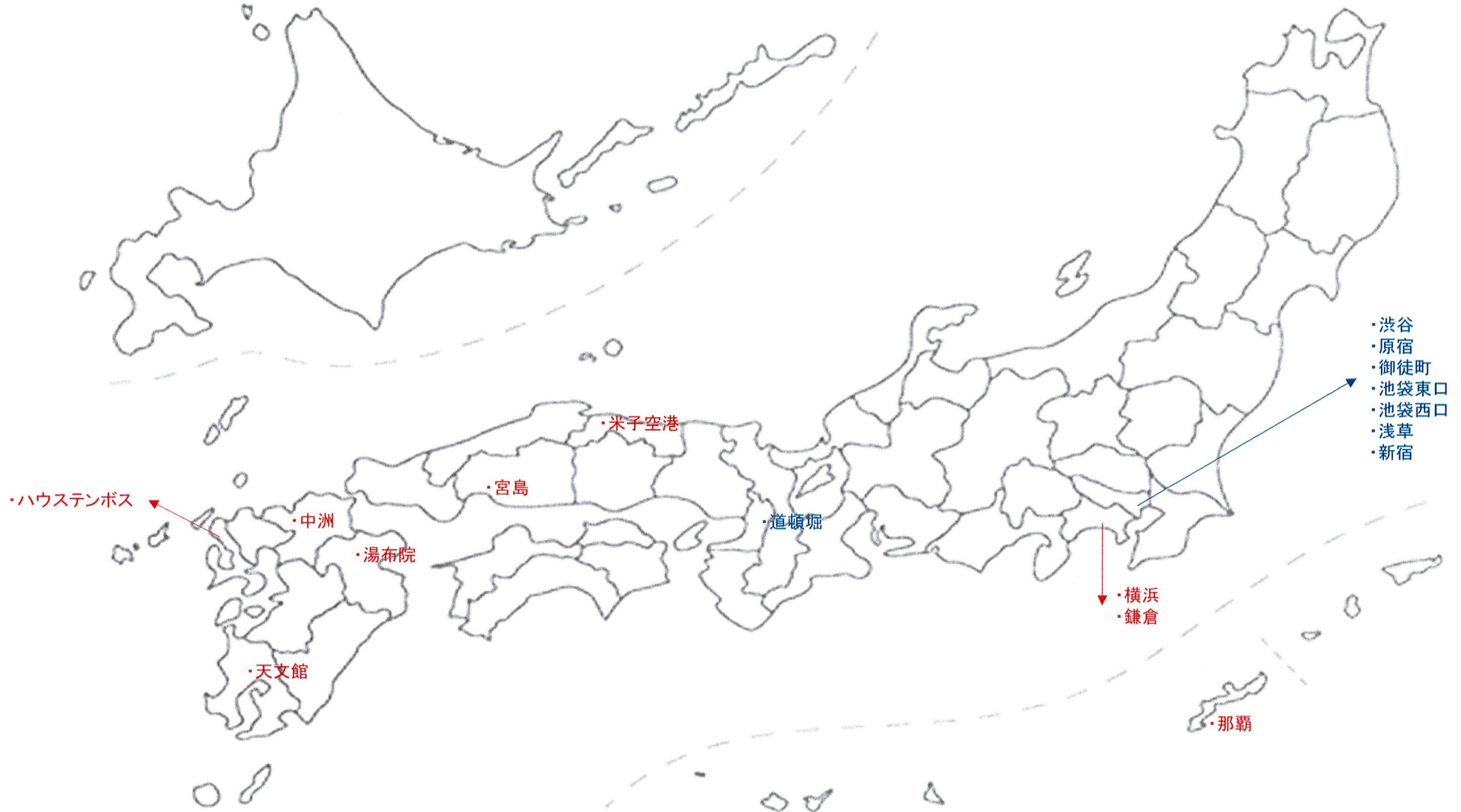
保守概要

* エリア別設定費用別途

- 1) 種別 : 保守(バンドリング式年間有償保守契約)
- 2) 納品先 : 東京首都圏
- 3) 実施内容 : バンドリング式基本コース(設定全通貨が対象)
ソフトウェア : ①バージョンアップ1回~/年間(紙幣改訂及び新手偽造対応)
※入金機、センターPCソフトウェア含む
②バージョンアップスポット料金¥68,000
③TELによるオペレーション指導

ハードウェア : ①日常のTELコール対応、
②定期点検・調整(損壊部品交換を除く)1回~/年間
※保守契約に定める標準外サービスは別途見積り
- 4) 実施方法:技術員派遣による出張修理(緊急出動対応は保守契約サポート時間内とする)
- 5) 特約:バージョンアップが追加が必要な場合の料金=30,000円/1回(スポット料金を値引き)

出店地及び出店計画地



ローカル出店と行政との取り組みの可能性

行政支援

- ・立地・・・1F路面、インバウンドの玄関口（主要交通機関）
- ・告知・・・看板やポスター、登り等、配布物への掲載
- ・集客・・・店舗までの導線確保、施設での案内、案内所でのアナウンス

☆ インバウンドの購買機会を逃さない

旅行とは日常から離れて、体験や経験を得ることが目的であると考え

その場所でしか手に入らないものや、食べられないものなど、金銭を使うことによって得られる満足感などは必要不可欠である。

しかし、地方では外国人が現地通貨で買い物や飲食をすることができるはずもなく、クレジットカードなどにおいては、観光地などの小規模店では取扱い自体ないことが往々にしてある。

首都圏や都市部においてはターミナル駅や港湾、街中両替所などが普及してきており、必要な時に必要なだけ両替をするということがここ日本においても少しずつ浸透してきたように感じられる。しかし、この感覚を持ったまま地方へ観光に出かけると、現金は使えない、両替はできない、カードが使えないなど、外国人観光客が金銭を使う機会を逸していることが残念でならない。

どの地域でも、インバウンド強化などのうたい文句をよく耳にするが、観光客を誘致する最大の目的は何であるかを考えると、経済効果を得ることにあるはずである。しかしながら、使えない、替えられないではせっかくの誘致でありながら、どこで経済の恩恵を受けるのであろうか？

都市部では銀行や大手外資両替業などが事業を行っているが、地方ではメリットを出すことが難しくコスト面で考えると事業を展開するには決め手がない。

しかしながら、小規模事業者でも、地方自治体の協力をえられることで、機動性良く、低コストで双方にメリットが得られる事業展開ができるのではないかと思われる。